

02 親しむ

取組事例

03

どんぐりを植えよう

～ 企業が取り組む未来への教育 ～

伊勢市立修道小学校 1年生



植樹についての紙芝居

実施時期	令和7年10月
実施場所	横浜ゴム三重工場
時間	2時限（45分×2）
対象・人数	小学1年生41人
講師	横浜ゴム三重工場社員
備考	横浜ゴム株式会社と伊勢市との共同実施

めざす姿	02親しむ （ 03 興味・関心を持つ、 04 違いに気づく、 05 変化に気づく、 06 知識・技能を身に付ける、）
ねらい	企業活動において子どもたちの自然や植物への親しみや優しさの意識を養い、感心を高める
内容	<ul style="list-style-type: none"> 紙芝居を用いて森林の多岐にわたる働きについて学習する 企業において、どんぐりから苗木を育て森をつくる活動を行っており、「どんぐり植え」の体験活動で自然への親しみや興味・関心を高める 自分で植えたどんぐりを育ててもらい、企業にて継続的なサポートも行いながら、子どもたちの木々の成長を願う優しい気持ち（関心）を育む
学習指導要領との関連	育てる（小学1～2年生生活） 感じる・不思議さ・触れる・命の尊さ（幼児）、面白さ・不思議さ・観察（小学1～2年生生活）、身の回りの生物・植物の体のつくり（根・茎・葉）（小学3年生理科）、森林資源のはたらき（小学5年生社会科）、楽しむ（小学1～4年生道徳）、自然や文化に親しむ（小学生特別活動）



どんぐり選び



どんぐり植え

参加者の反応	<ul style="list-style-type: none"> 紙芝居が楽しかったです 植えたどんぐりが早く木になってほしい 育つのが楽しみ また次来るころには植えたどんぐりが芽になっているかもしれないです
主催者のコメント	・紙芝居とどんぐり植え体験を通じて、子どもたちが森林の多岐にわたる働きの重要性を自分ごととして捉えるきっかけを提供できました。企業の環境保全活動における役割の大きさを改めて感じました。「早く木になってほしい」という純粋な思いを受け止め、未来の森づくりを継続していきます。